安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

作成日:　2022 年 1 月 5 日　　SDS 番号:　SDGHS21005
改訂日:　YY 年 MM 月 DD 日

1　化学品および会社情報

製品名	CryoBov for Sperm
会社名	株式会社バイオベルデ
住所	京都府京都市南区東九条南松ノ木町 43 番地 1
電話番号	075−644−9009
ファクシミリ番号	075−644−9009

2　危険有害性の要約

GHS 分類
　眼の重篤な損傷性／刺激性（区分 2B）

GHS ラベル要素	該当なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
注意書き	
安全対策	取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。
応急処置	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察，手当を受けること。
廃棄	内容物及び容器を許可された廃棄物処理施設に廃棄すること。

3　組成および成分情報

化学物質/混合物の区分　混合物（水溶液）

成分	化学特性（化学式等）	CAS No.	含有量	官報公示整理番号（化審法・安衛法）
カルボキシル化ポリリジン	—	—	—	—
グリセリン	$HOCH_2CHOHCH_2OH$	56-81-5	—	2-242
水酸化ナトリウム	N_aOH	1310-73-2	>= 0.1- < 1 %	1-410

4　応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移動させ，必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水および石鹸で洗い流す。炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で数分間洗眼し，必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し，医師の診断を受ける。無理に吐かせてはならない。意識のない場合は，口から何も飲物を与えてはならない。

5　火災時の措置

消化剤	泡，二酸化炭素，粉末，乾燥砂。
特有の危険有害性	消化の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち，適切な消火剤を使用して消化する。消火活動は，可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業の際は，必ず保護具を着用する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直接人体に触れないように防塵マスク，保護メガネ，保護手袋，保護衣を必要に応じて着用する。風上から作業して，風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項	河川へ排出され，環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

密閉できる空容器に回収する。こぼした場合は，吸収紙，ウエス等で拭き取る又は大量の水で洗い流す。

7　取扱いおよび保管上の注意

取扱い	直接人体に触れないようにする。
保管	冷暗所もくしは冷蔵庫に保管，遮光，密封。

8　ばく露防止および保護措置

許容濃度	データなし
設備対策	取り扱いの場所の近くに，洗顔および身体洗浄剤のための設備を設ける。
保護具	保護マスク，保護眼鏡，保護手袋，保護衣を必要に応じて着用する。

9　物理的および化学的性質

形状	液体
色	無色～淡黄色
臭い	データなし
pH	6.6±0.2
融点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
燃焼または爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
比重	データなし
溶解性	データなし

10　安定性および反応性

安定性	冷蔵庫（4～10℃）保管で 1 年間安定である。
危険有害反応可能性	データなし

危険有害な分解生成物　データなし

11 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感作性または皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器、単回暴露	データなし
特定標的臓器、反復暴露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12 環境影響情報

生体毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体備蓄性	データなし
土壌中の移動性	データなし

13 廃棄上の注意

廃棄処理方法　内容物及び容器は，関連法規及び各自治体の条例等に従い，産業廃棄物として適切に処理すること。

14 輸送上の注意

国際規制：

国連番号（UN No.）	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類	非該当
国連分類（副次）	非該当
容器特級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上規制情報	ADR/RID 規制なし
海上規制情報	IMDG 規制なし
航空規制情報	ICAO/IATA 規制なし

国内規制：

陸上規制情報	規制なし
海上規制情報	規制なし
航空規制情報	規制なし

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け，容器の漏れのないことを確かめ，落下，転倒，損傷のないように積み込み,荷崩れ防止を確実に行うこと。

緊急時応急措置指針番号　—

15 適用法令

該当なし

16 その他の情報

引用・参考文献

1. 社内データ
2. 化管法に基づく SDS・ラベル作成ガイド～事業者向け GHS 分類ガイダンス・GHS 混合物分類判定システム～（経済産業省）
3. JIS Z 7253: GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法―ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS））（一般財団法人 日本規格協会）
4. 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂 8 版（国際連合）
5. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）のウェブサイト

記載内容に関して

本製品安全データシート（SDS）は，現時点で入手可能な資料，データに基づいて，十分な注意を払って作成しておりますが，記載のデータや危険，有害性の評価について保証するものではありません。御使用に先立ち，危険，有害性情報のみならず，御使用になる機関，地域，国の最新の規則，条例，法規制等を十分に調査し，それらを最優先して下さい。

また，記載のデータ等は，新たな情報や知見により修正，改訂されることもあります。

記載の注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり，特別な取り扱いをされる場合は状況に適した安全対策を実施した上，十分な注意を払う必要があります。

すべての化学製品は，その危険性，有害性も使用時の環境，扱い方，あるいは保管の状態，期間によって異なることがあります。御使用時は当然ながら，開封から保管，廃棄に至るまで，専門的知識，経験のある方もしくはそれらの方々の指導の下に御取り扱い下さい。